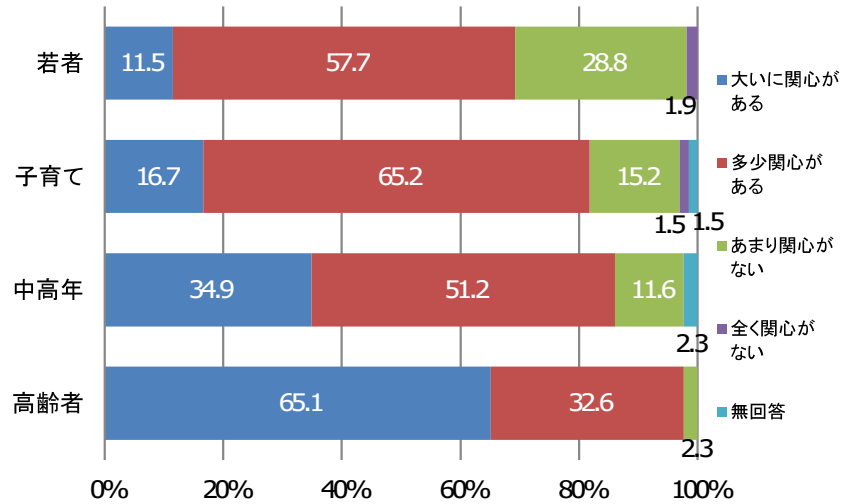
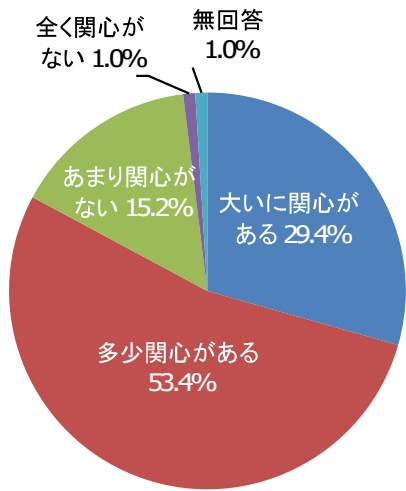


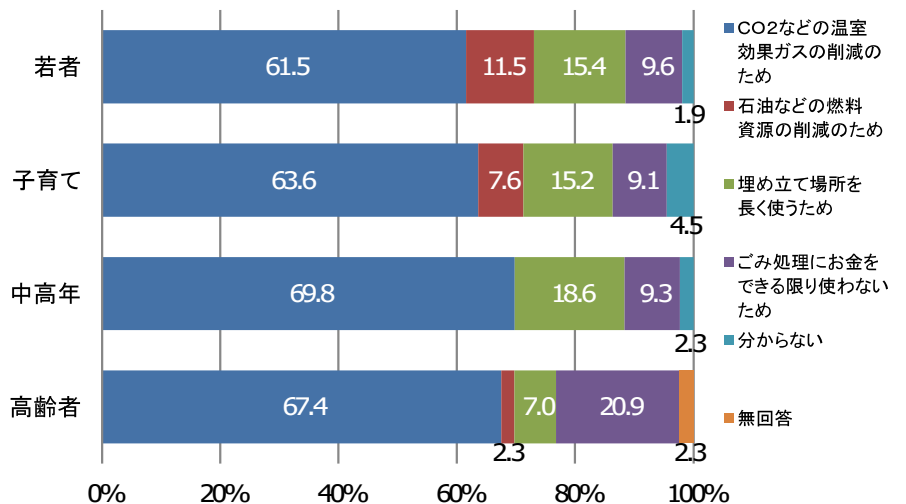
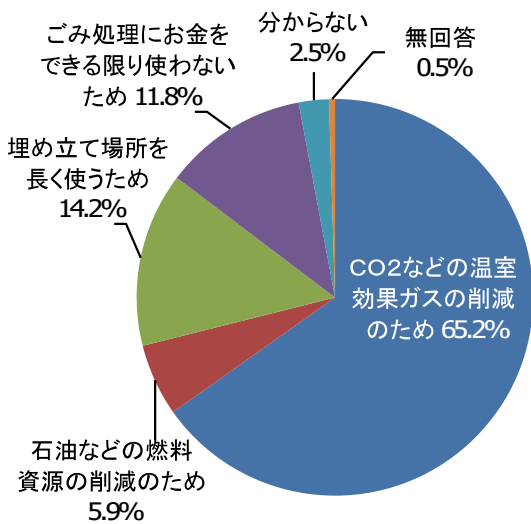
<家庭ごみの減量と有料化について>

■問1 ごみの減量と資源化への関心 (N=204)



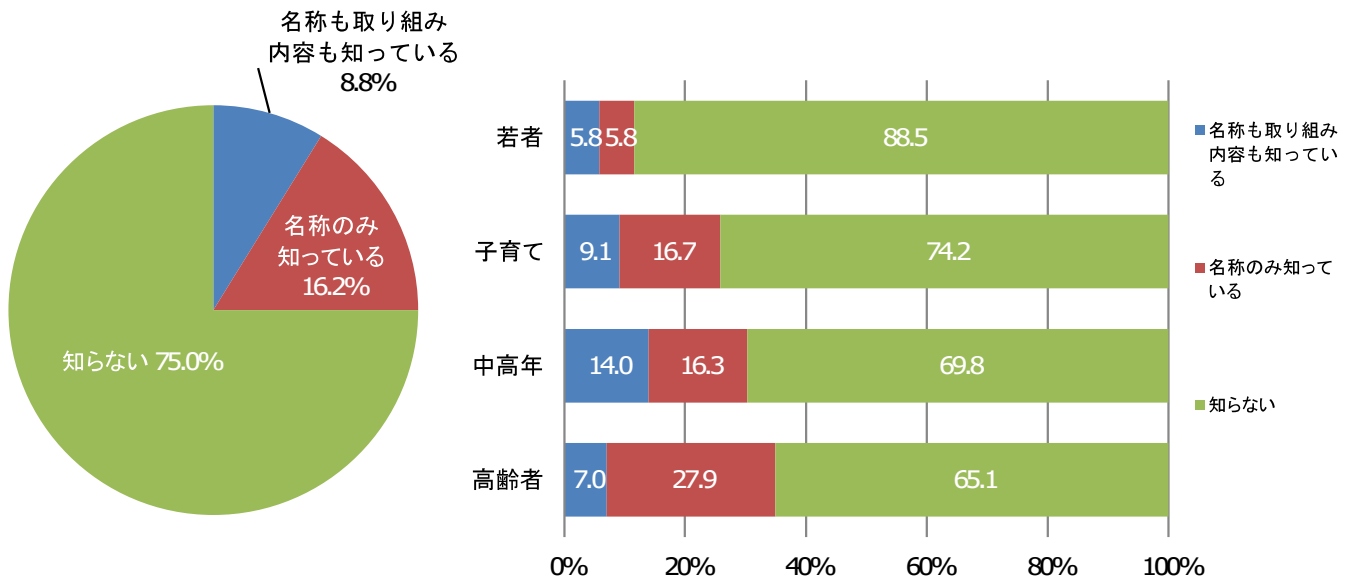
- ごみの減量と資源化への関心については、『関心がある』（「大いに興味がある」と「多少興味がある」の合計）が約8割となっています。
- 世代別にみると、世代が高くなるにつれて『関心がある』の回答割合が高くなっています。

■問2 ごみの減量が必要な理由として一番重要だと思うこと (N=204)



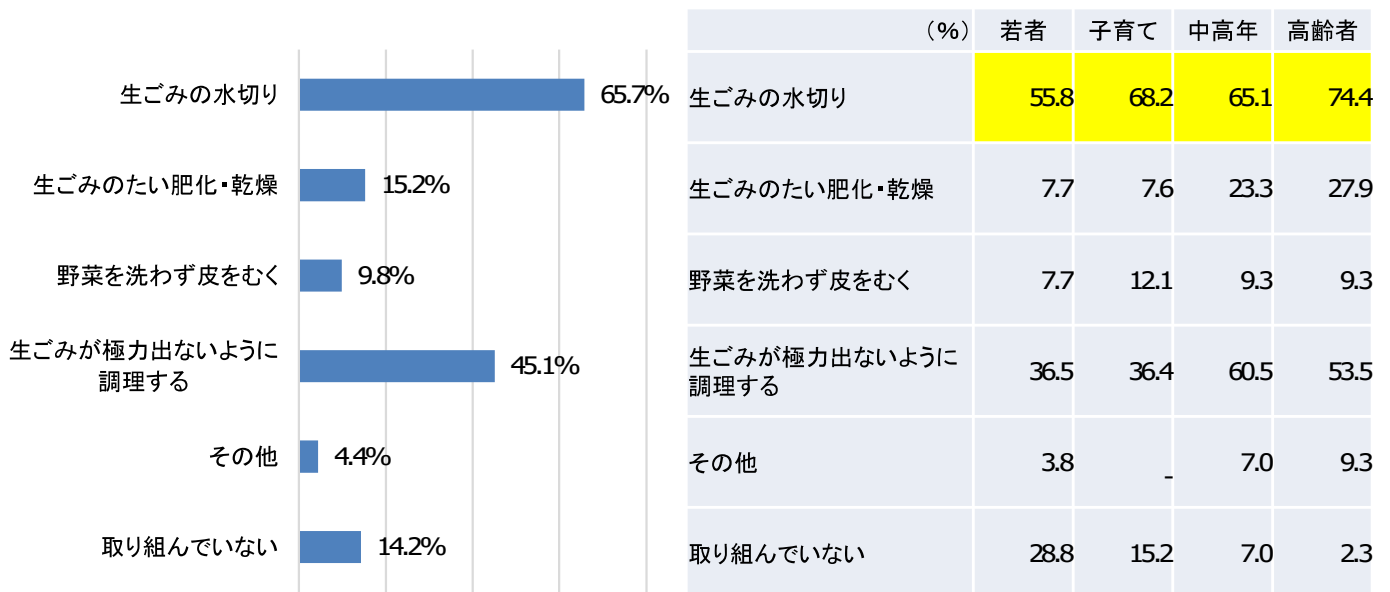
- ごみの減量が必要な理由として一番重要だと思うことについては、「CO2などの温室効果ガスの削減のため」が約7割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「CO2などの温室効果ガスの削減のため」が最も多い回答となっています。

問3 「ごみ減量天下取り大作戦」の認知度 (N=204)



- 「ごみ減量天下取り大作戦」の認知度については、『知っている』(「名称も取り組み内容も知っている」と「名称のみ知っている」の合計)が約3割となっています。
- 世代別にみると、世代が高くなるにつれて、『知っている』の回答割合が高くなっています。

問4 生ごみの減量に関して取り組んでいること (N=204 複数回答)

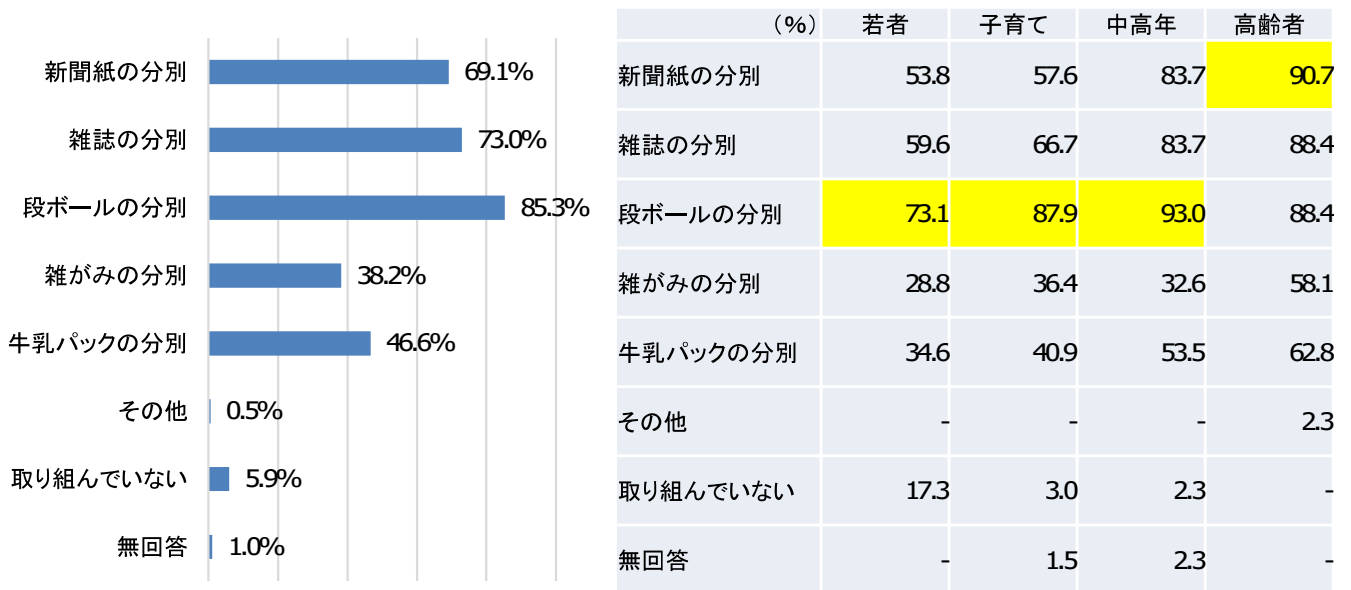


■その他意見

- ・コンポストの使用
- ・生ごみ処理機の利用
- ・無駄にしない買い方
- ・調理済み食品の購入

- 生ごみの減量に関して取り組んでいることについては、「生ごみの水切り」が約7割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「生ごみの水切り」が最も多い回答となっています。

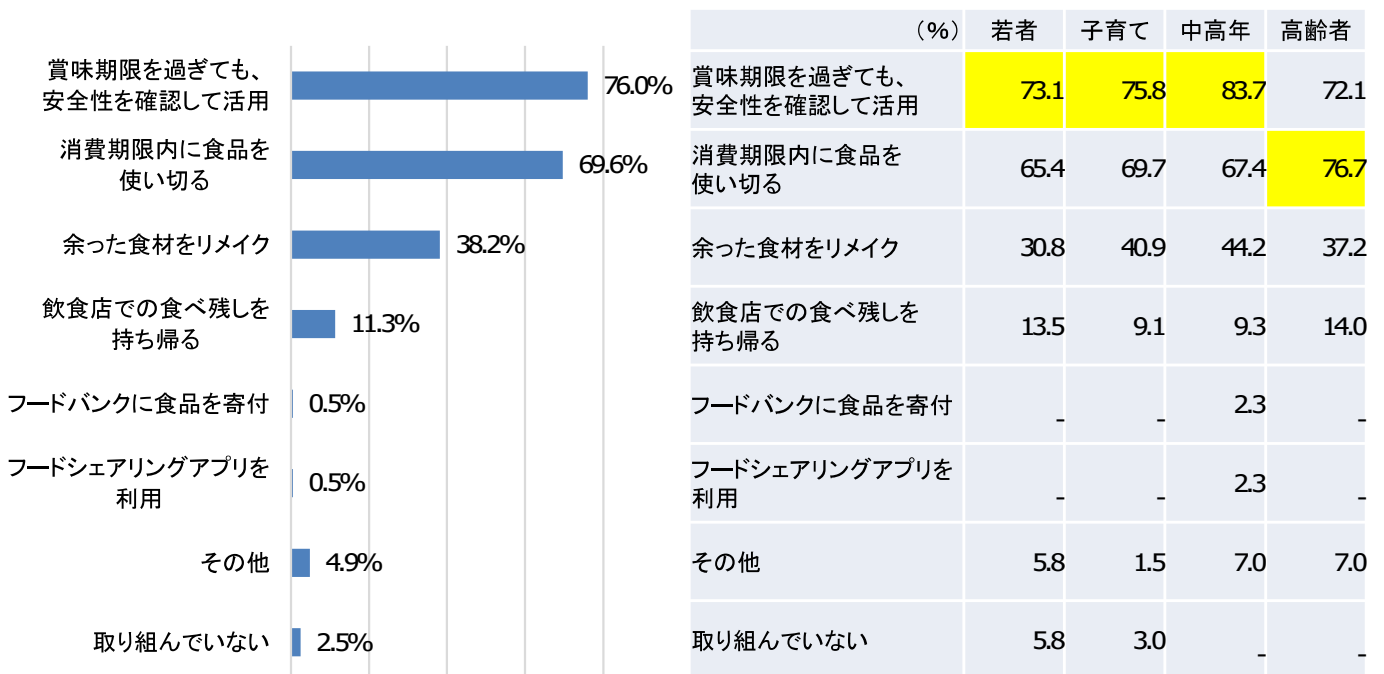
問5 古紙類の分別に関して取り組んでいること (N=204 複数回答)



- 古紙類の分別に関して取り組んでいることについては、「段ボールの分別」が約9割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみると、若者・子育て・中高年では「段ボールの分別」が、高齢者では「新聞紙の分別」が最も多い回答となっています。

問6 食品ロス※の削減に関して取り組んでいること (N=204 複数回答)

※ 食品ロス:本来食べられるのに捨てられてしまう食品・食材のこと。

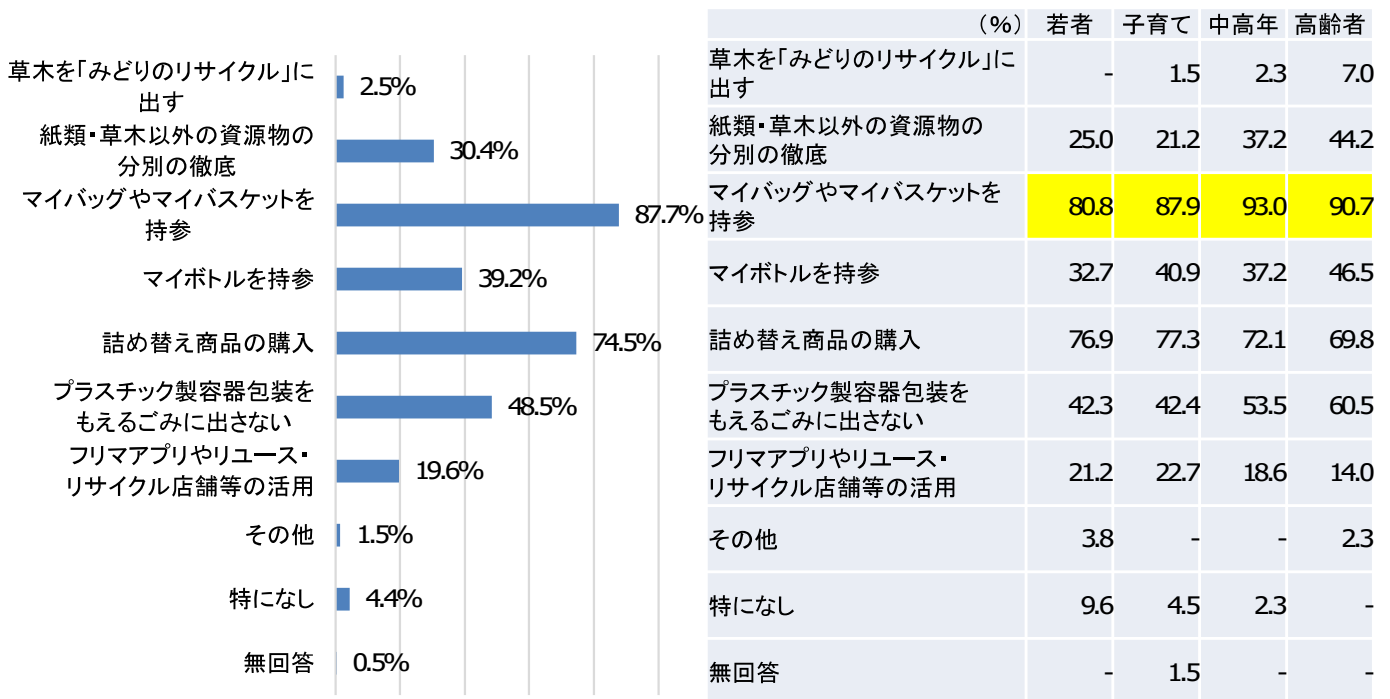


■その他意見

- ・買い過ぎない
- ・買い物前に食材の確認をする
- ・作りすぎない
- ・食べ残しをしない
- ・おすそ分けをする

- 食品ロスの削減に関して取り組んでいることについては、「賞味期限を過ぎても、安全性を確認して活用」が約8割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみると、若者・子育て・中高年では「賞味期限を過ぎても、安全性を確認して活用」が、高齢者では「消費期限内に食品を使い切る」が最も多い回答となっています。

問7 そのほかにごみの減量に関して取り組んでいること (N=204 複数回答)



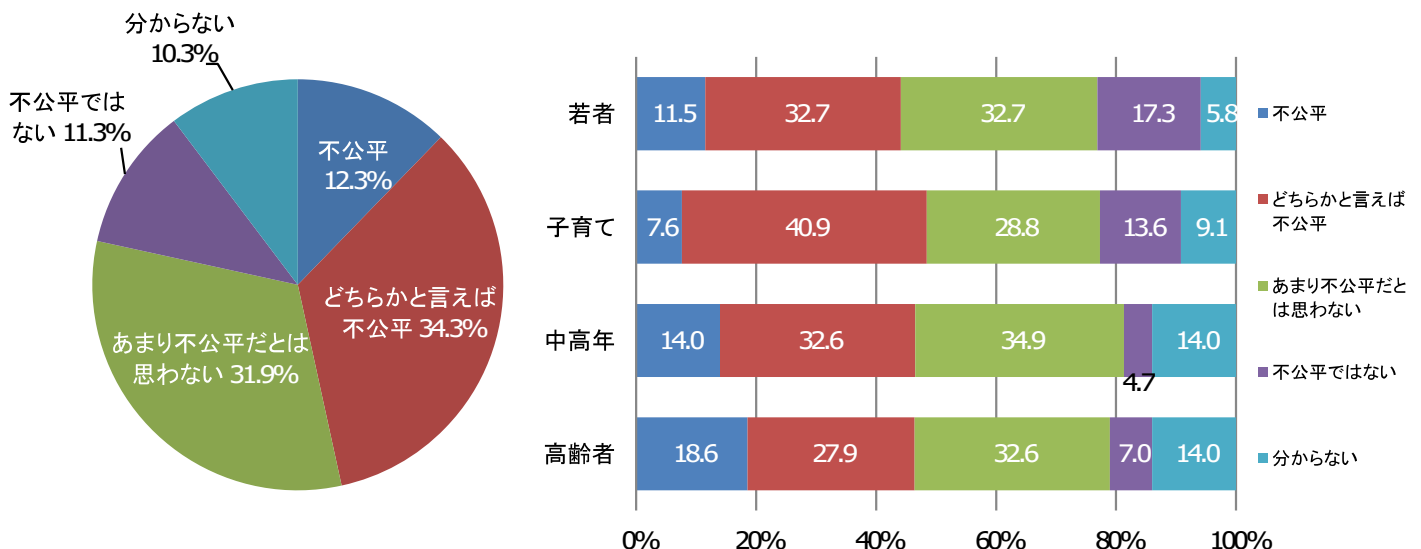
■その他意見

- ・物を買わない
- ・裏紙の利用

- そのほかにごみの減量に関して取り組んでいることについては、「マイバッグやマイバスケットを持参」が約9割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「マイバッグやマイバスケットを持参」が最も多い回答となっています。

問8 ごみを出す量に関わらず、金銭的な負担※に差がないことについて (N=204)

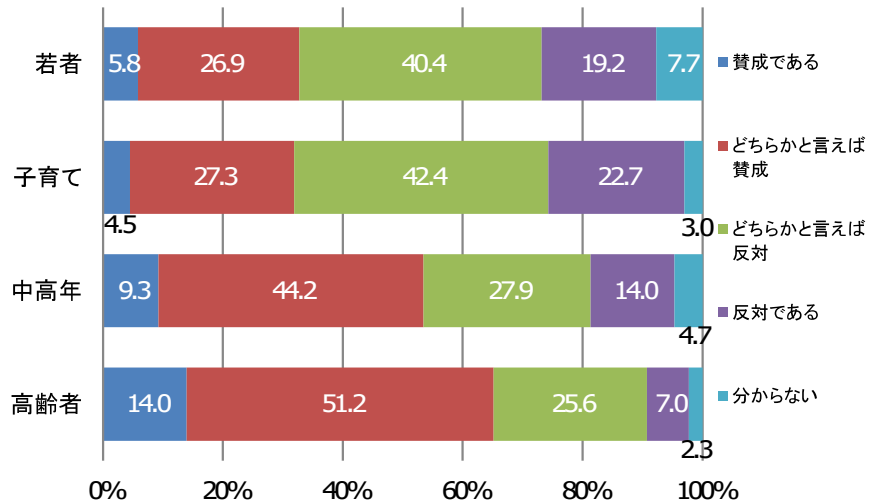
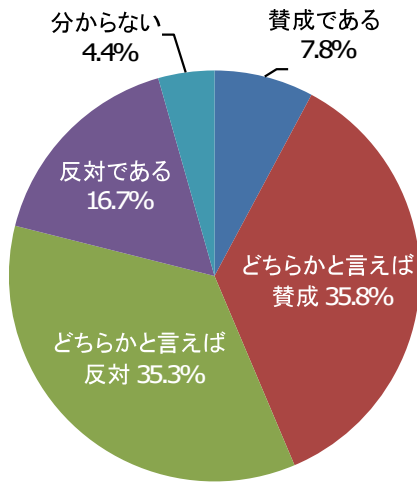
※ 本市におけるごみ処理に掛かる費用は、令和元年度実績で約60億円かかっており、市民一人あたりに換算すると年間7,400円になります。



- ごみを出す量に関わらず、金銭的な負担に差がないことについては、『不公平だと思う』(「不公平」と「どちらかと言えば不公平」の合計)が約5割となっています。
- 世代別にみると、子育て・中高年・高齢者では『不公平だと思う』、若者では『不公平だとは思わない』(「あまり不公平だとは思わない」と「不公平ではない」の合計)の回答割合が多くなっています。

問9 家庭ごみ有料化※の実施について (N=204)

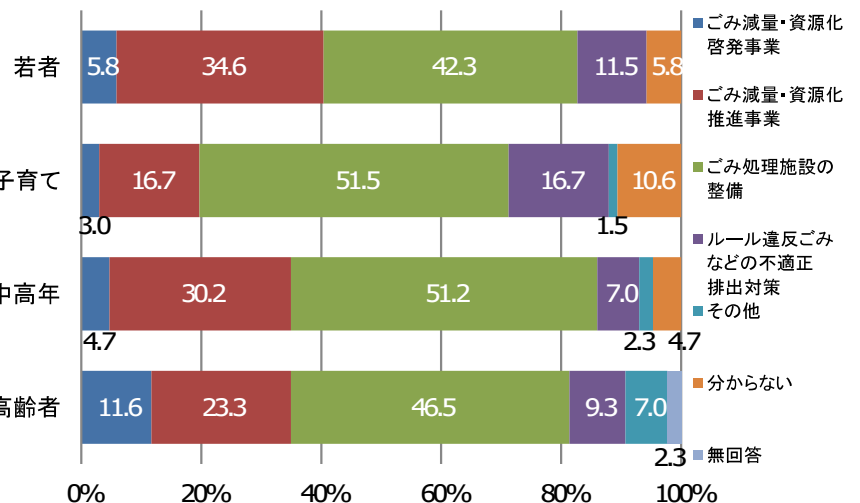
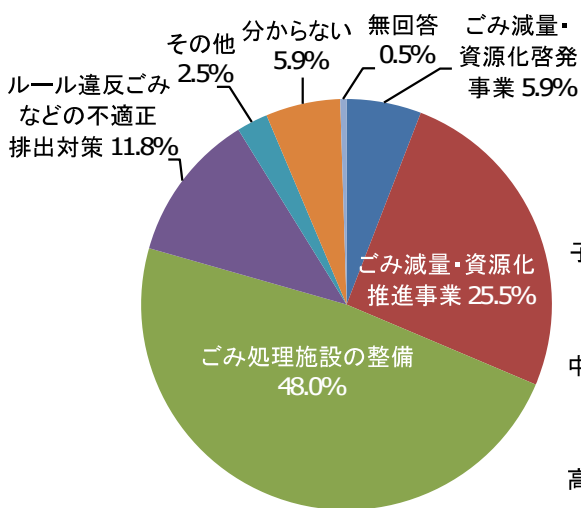
※ ごみの排出量に応じてごみの処理にかかる手数料を主に指定ごみ袋に上乘せして販売する制度。



- 家庭ごみ有料化の実施については、『反対』(「どちらかと言えば反対」と「反対である」の合計)が約5割となっています。
- 世代別にみると、若者・子育てでは『反対』、中高年・高齢者では『賛成』(「賛成である」と「どちらかと言えば賛成」の合計)の回答割合が高くなっています。

問10 家庭ごみ有料化を実施した場合、その手数料を活用してほしい事業 (N=204)

(N=204)



■その他意見

- ・ごみ集積場の整備(美化)
- ・ごみ処理費用以外への充当

- 家庭ごみ有料化を実施した場合、その手数料を活用してほしい事業については、「ごみ処理施設の整備」が約5割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「ごみ処理施設の整備」が最も多い回答となっています。